

臼田町誌刊行会会議録

日時 平成 24 年 3 月 25 日（日）

午前 11 時 00 分～午前 12 時 10 分

場所 あいとびあ臼田多目的室 3・4 号室

出席委員 11 名 欠席委員 3 名

1. 開 会

2. あいさつ

刊行会会長 黒岩 肇

教 育 長 土屋盛夫

3. 協議事項

(1) 平成 11 年度から平成 23 年度の臼田町誌刊行会の活動の経過について

事務局説明

会 長：今後編纂講座は継続していくのか。

事務局：臼田町誌の編纂が今年度で終了するが、文化財課としてはこのような機会を継続してもちたいと検討している。

会 長：この地域の非常に貴重で身近に感じている資料等があり、町誌編纂事業が終わった後の対応について各委員さんのご意見を伺いたい。

委 員：講座を継続してやっていただきたい。

事務局：地域との関わりの関係で、公民館の地区館長に協力をいただき取り組むことを考えている。

この施設には文書的な資料や民具の展示があり、文化財課の事業として地域的な関わりの中で事業を進めるには、職員数の制約もあり、公民館と連携をとり進めないといけない。

臼田地区で古文書を読んで学習している方と手を携えていく必要がある。

委 員：自分で読むだけではなく、講演会を行ってほしい。

委 員：自然編作成時に資料収集された方が何人かいる。その方たちに講演などを頼めば将来の活用に繋がると思う。

委 員：全市的に一律的にやらなければいけないという考え方は、地域ごとに行っている芽を育てないことになってしまうため、出来るところからやるべきだ。

委 員：勉強するために町誌を読む会といったものも必要だと思う。是非その機会を持っていただきたい。

- 委員：1回で終わるのではなくて、同じことでも繰り返し、繰り返しやっていただきたい。
- 会長：行政のほうでやっていただくということも大事だが、地域のほうでも灯を消さないことも大事だと思う。
- 委員：今年を過ぎている人たちは時間も出来て、機会があるなら勉強したいという前向きな方たちがかかりいると思う。
どこに行けば見られるのかというPRが大事である。
- 委員：公的機関で計画を立てるとやりやすいということがあるが、民間の人たちの計画で、研究したり講座を持ったりするなど、町誌講座を継続してやっていくような方法を是非検討してもらいたい。
- 事務局：文化財課だけではなく、教育委員会の中で今後検討することが必要であり、地域の活動している方たちの中に教材として活用いただくため、テーマを決めて提案していくので是非活用してもらいたい。
- 会長：刊行会というのは、いろいろな団体の方々が参加しているので、市民サイドから盛り上げていく意味で、いろいろな所で議論をする方法も考えていきたい。
- 教育長：3年前から自分たちの故郷に誇りと愛着を持つため、「わがまち佐久 市民講座」を行っている。講座をきっかけに、235の公民館や地区館、あるいは区長さん方にも郷土研究等が広がることを願っている。
今年の6月ごろには「佐久の先人たち」を発刊する。当初は18人であるが、何とか市民の話題に上るようにしたい。冊子を作ったままでは単なる保管になってしまうので、それを皆の話題にしていくということが大事であり、継続していくという方向を模索したい。地区館としての講座、地域への出前講座も必要だと考える。
- 事務局：公民館との連携した活動は、実際に相談しながら平成24年度は一緒にやろうという話も進めている。

(2) 町誌の販売状況について

事務局説明

- 委員：文書目録の販売単価は幾らか。
- 事務局：今回の発刊は各巻300冊ずつの8分冊で2,400冊になっている。希望者に領布予定のものは1冊当たり1,000円としている。
- 委員：「臼田町誌」には残冊があるということだが、この印刷代は払ってあるのか。
- 事務局：印刷が完了した時点で印刷代はすべて払われている。

(3) 臼田町誌編さん講座について

事務局説明

委員：講座の内容が非常に硬いため、一般の皆さんの関心が無いと思う。お金がかかっても一般の皆さんにPRし、一般の皆さんから盛り上げていくのが大事だと思う。

会長：PRは工夫していく必要がある。講座に出てみると難しいことをやるわけではない。

事務局：大事なことは継続していくこと。今回区長さんを通して臼田地区には全戸回覧で通知したが、引き続き協力をお願いしたい。

(4) その他

事務局：この目録販売や旧臼田町誌編さん室の取り扱いについては広報佐久の4月号に掲載する。

その他の情報も、佐久市のホームページ、インターネットで「佐久市文化財課」と検索してもらうといろいろなニュースを発信しているのでご覧いただきたい。また、今年度話題となった化石や出土品、埴輪など、分かりやすく展示してあるので、是非一回文化財課の事務所を訪ねていただきたい。

会長：本日の議事は全て終了しました。

臼田町誌編纂事業はこの3月31日をもって終了します。刊行会の皆さんにはお忙しい中ご出席をいただきありがとうございました。

4. 感謝状の贈呈

市長からの感謝状伝達（10年以上編纂に関わった方）

臼田町誌編纂委員長 尾崎行也

臼田町誌自然編纂主任 小平達郎

臼田町誌民俗編纂主任 酒井 佐

教育長からの感謝状伝達（10年以上常時編纂に協力した方）

臼田町誌編纂協力員 相沢俊之

臼田町誌編纂協力員 平林利一

臼田町誌編纂協力員 井出路子

5. 閉会